

# 〇〇〇歯科クリニック 様 ムカデ防除に関する調査報

## ◆ 詳細

調査日時: 平成〇年△月□日(水)

調査場所: 各務原市

TEL: 058-000-1000

調査対象: 徘徊節足昆虫防除に関して

調査人 : (有)サンアイ 今瀬芳尚

## 〇〇〇クリニック状況



クリニック北側の庭石の下や、東面に位置する畑に生息



基礎の上部に有る防鼠スリット ムカデやゴキブリの侵入は可能



スポットライトには多くの虫の死骸 東面は基礎沿いに草木が多い

## 施行事例



水溶性薬剤による処理風景



粉剤を基礎沿いに散布



コンクリート基礎沿いに SC キーパーを取付 物理的侵入防止策

## ◆ ムカデの種類

ムカデ類には大別してオオムカデ・イシムカデ・ジムカデの3グループに分けられます。

**オオムカデ** : にはトビズムカデ・アオズムカデ・アカズムカデとなり、体長も8cm~15cm程に成長し成虫だと緑褐色をする様に成ります。

**イシムカデ** : は特に夜行性で日中は石の下、木の隙間に潜んでいます。

**ジムカデ** : は特に水分の多い土中に生息します

晩秋に交尾したムカデ類が腐木や土中の中で、一度に数百個の卵を産卵し、大切に卵を抱えて孵化を待ちます。5月の中旬頃には数百の幼虫が誕生しますが、その殆どは他の昆虫の餌と成り、数十匹が脱皮を繰り返しながら成長をしていきます。

母ムカデは子ムカデを卵から3齢幼虫になるまでの数ヶ月間保護しますがその後は幼虫は自力で捕食活動して、約3年で成体となります。その後も脱皮を繰り返して成長し、6~7年生存します。

## ◆ 侵入経路

クリニック北側や東に位置するお家の、庭石の下や畑に生息しているムカデ類が、夜間電燈に飛来する飛翔昆虫を捕食する為に近寄って来ます。

飛翔昆虫が最も活発な時間帯は日没後2時間ほどで、現在はおおよそ19:30~21:00です。この時間帯に建物から光源が発せられると、飛翔昆虫が集まり、それを食料とする様々な昆虫も同時に活発と成ります。

建物外周に近寄って来たムカデは、地面に落下する昆虫を捕食します。また、地面を徘徊するムカデは、垂直な壁(基礎)にぶつかると、上へ上へと徘徊します。

この時、基礎に設けられた、防鼠スリットの隙間から建物内部の床下や壁面内部へと侵入してしまいます。

ムカデ・ゴキブリは、圧迫昆虫と別名が有る様に、背中部分が何か接触していると安心する為に、狭い部分を好んで潜みます。

## ◆ 防除方法

薬剤処理: 水溶性(無色透明)薬剤を建物外周の基礎・土壌・アスファルト上に散布して、徘徊時の接触による駆除方法です。  
① 薬剤には忌避作用は無く、薬剤に触れ徐々に効力が効き始める為に、即効性に欠ける

薬剤処理: 粉剤、粒剤を基礎沿いに散布して、ムカデに接触させ駆除を行う、水性薬剤よりは即効性は期待出来るが、美観と雨による薬剤の凝固と流失が早い  
②

物理的防除: ムカデ返し用の SC キーパーを基礎沿いに取付、物理的に侵入を防止する方法(全体施工時はコスト高がネック)

(有)サンアイ  
代表取締役 今瀬

2009/6/17